



港区がんに関する区民意識調査

報告書【概要版】



令和2年（2020年）3月

港 区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

港区のがん対策について

港区は、がん対策をより総合的かつ計画的に推進するため、平成28年2月に「がん対策推進アクションプラン」を策定し、がんによる死亡者の減少と、がんにかかっても住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できる環境の構築を目標とした、予防、早期発見、地域がん医療の充実及びがん患者・家族への支援の4分野にわたり37の事業に取り組んでいます。本調査は、区民のがんに関する意識やがん検診の受診状況、生活習慣などを調査し、その分析結果をもとに、次年度以降のがん対策に効果的な施策の提案等を行うことを主な目的としています。

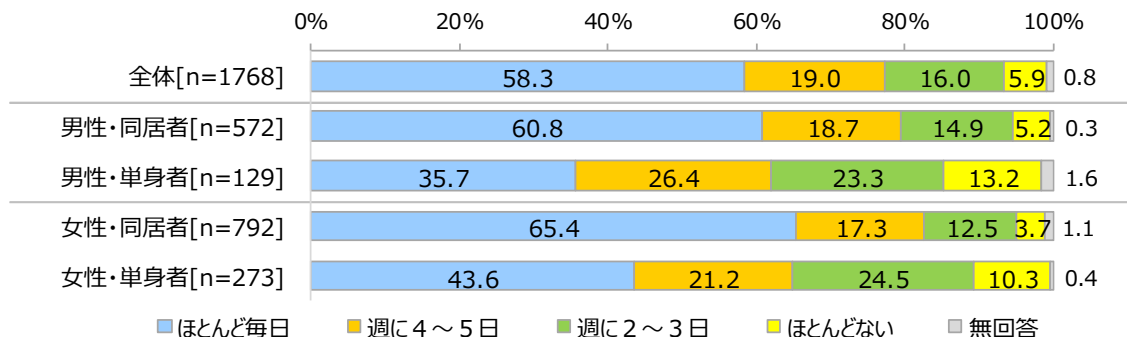
がん予防の推進

がんに関する一次予防における重要な要因として、食生活、禁煙、飲酒、運動習慣等があげられます。

◎食生活について

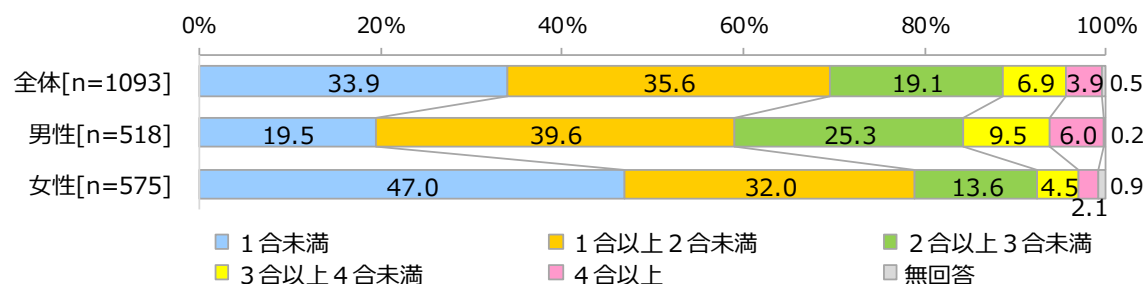
港区民において、とりわけ単身の男性はバランスのよい食事や十分な量の野菜を摂取する人の割合が少なくなっています。

- 1日に2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせるとバランスよく食べている人の割合



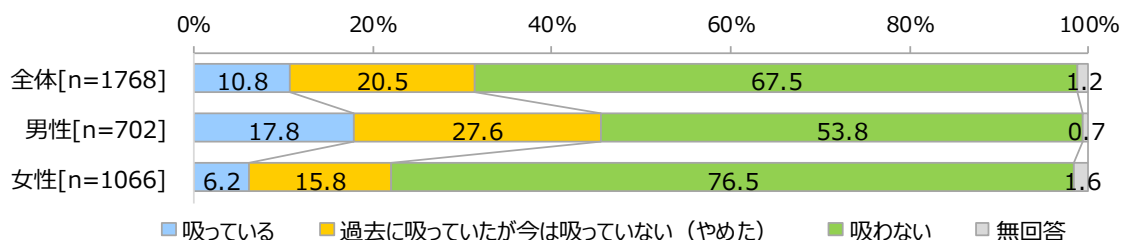
◎飲酒の状況について

1日あたり1合以上飲酒する人の割合は、6割を超えているため、節度のある適度な飲酒の普及啓発が一層必要です。



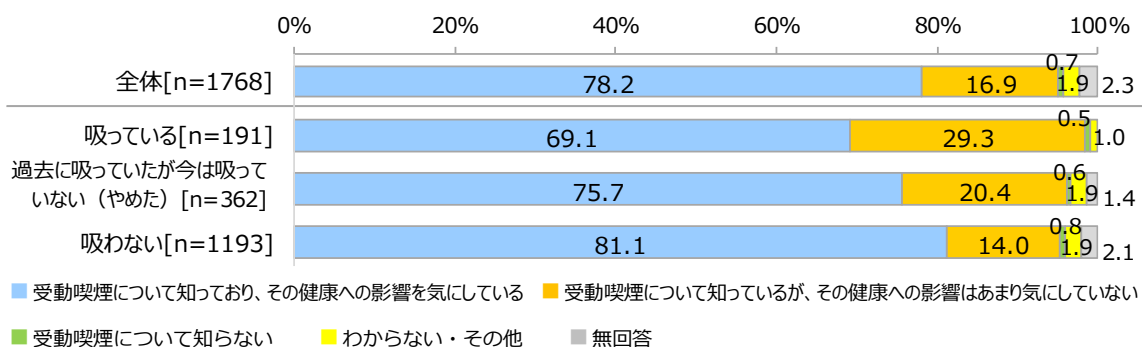
◎喫煙状況について

喫煙状況については、男性では、17.8%の人が現在たばこを吸っていると回答しており、女性の6.2%と比較すると3倍近く高くなっています。



◎受動喫煙について

受動喫煙については、たばこを吸わない人では、8割を超える人がその影響を気にしています。

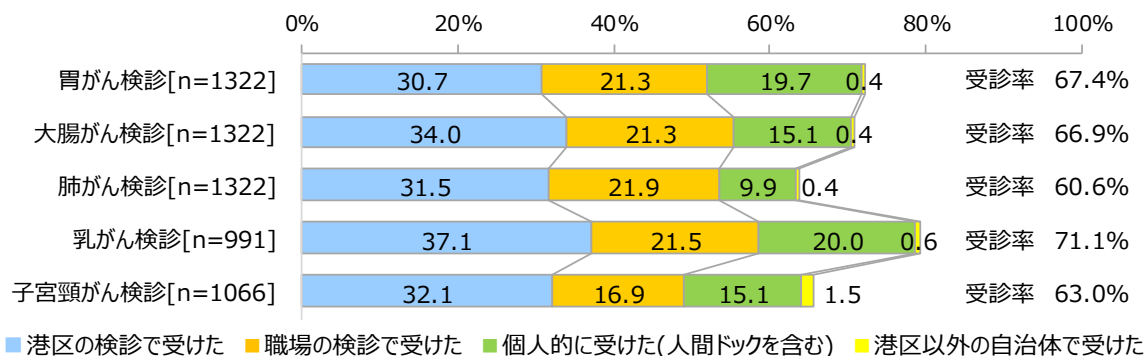


がんの早期発見

◎がん検診の受診状況について

がん検診を受診している人の割合は、職種や個人による受診を含めて国の目標値である50%を超えています。

●がん検診の受診の有無

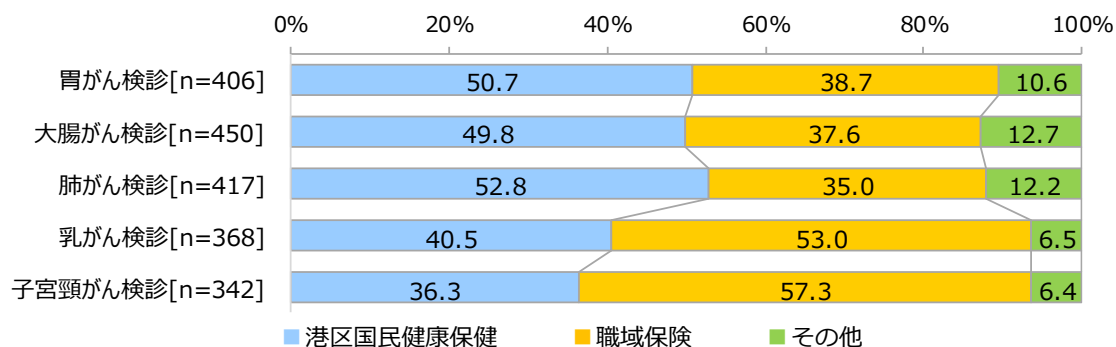


※母数はそれぞれ、胃、大腸、肺：40歳以上の男女、乳：30歳以上の女性、子宮：20歳以上の女性

※受診率は、「港区の検診で受けた」、「職場の検診で受けた」、「個人的に受けた（人間ドックを含む）」、「港区以外の自治体で受けた」のうち、いずれか1つでも回答した人の割合を表します。なお、同じがん種の検診を複数の場所で受診する人もいるため、「港区の検診で受けた」、「職場の検診で受けた」、「個人的に受けた（人間ドックを含む）」、「港区以外の自治体で受けた」のそれぞれの受診率の合計と一致しない場合があります。

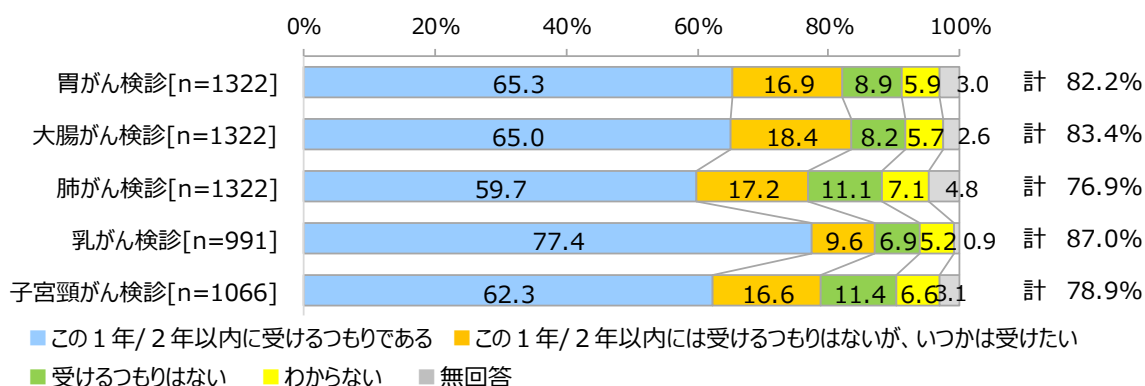
過去1年間または2年間にがん検診を港区の検診で受診したと回答した人の加入している保険の種類については、職域保険加入者でも一定数おり、子宮頸がん検診、乳がん検診については、港区国民健康保険加入者よりも職域保険加入者のほうが多くなっています。

●港区がん検診受診者の保険の種類



がん検診の受診意向については、「この1年/2年以内に受けるつもりである」または「この1年/2年以内には受けるつもりはないが、いつかは受けてほしい」と回答した人の割合を合わせると7割を超えています。

●がん検診の受診意向

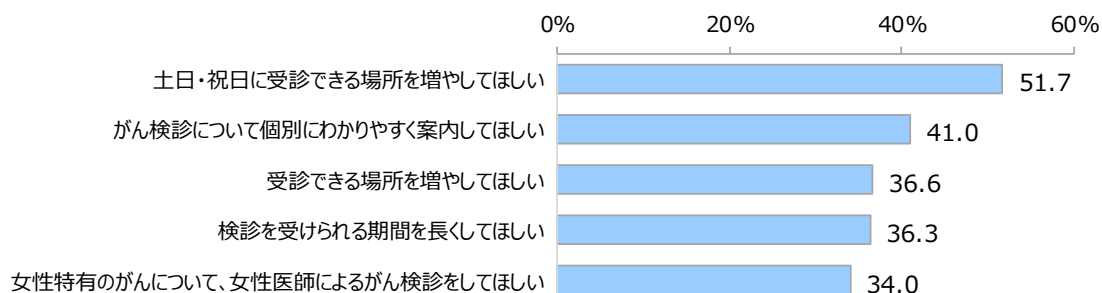


※母数はそれぞれ、胃、大腸、肺：40歳以上の男女、乳：30歳以上の女性、子宮：20歳以上の女性

◎港区のがん対策に期待すること

港区が実施するがん対策として期待することについては、「土日・祝日に受診できる場所を増やしてほしい」と回答した人の割合が半数を超えています。

●港区に期待するがん対策（上位5位まで抜粋）[n=1768]

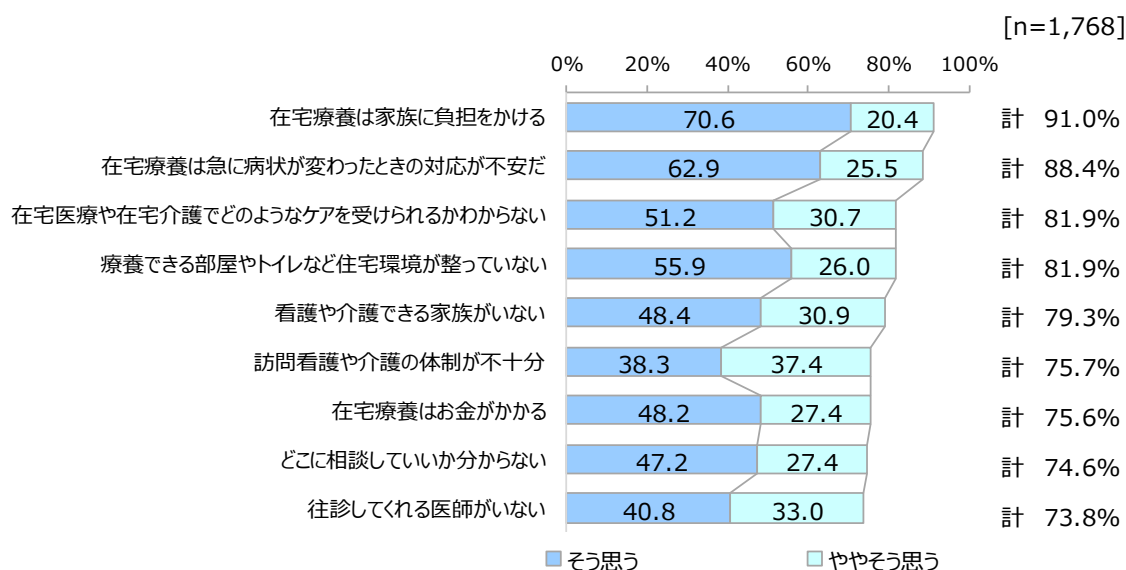


地域がん医療の充実／がん患者やその家族への支援

がん患者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活するためには、地域がん医療の充実やがん患者とその家族への支援が欠かせません。

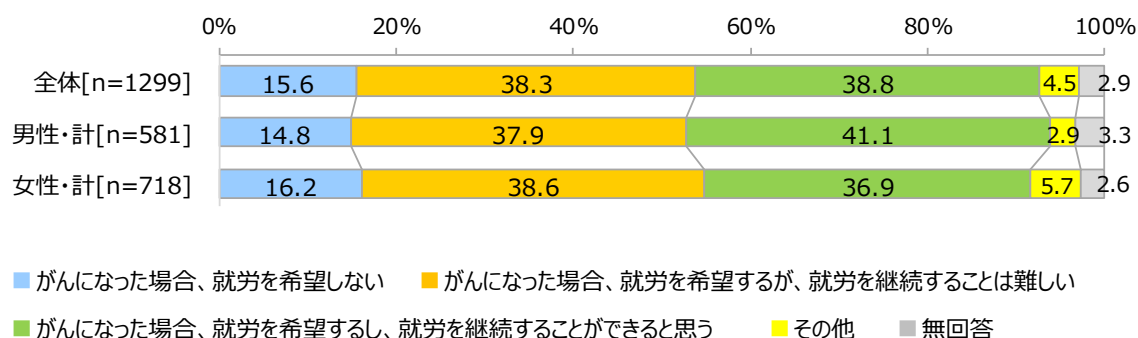
◎自宅療養に関する考え

自宅療養については、家族の負担が大きいと考える人が9割を超えるなど、正しい情報の提供、各種支援の拡充が必要になっています。



◎がんに罹患した後の就労について

がんに罹患した場合の就労希望については、「がんになった場合、就労を希望するし、就労を継続することができると思う」と「がんになった場合、就労を希望するが、就労を継続することは難しい」と回答した割合は、ほぼ同じです。



港区がんに関する区民意識調査（20歳以上向け）

調査対象：20歳以上の港区在住の男女6,000人（うち、外国人は500人）

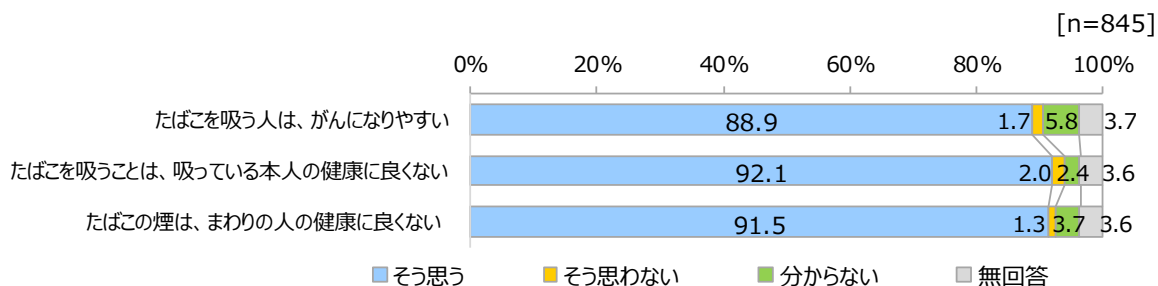
調査期間：令和元年10月8日から令和元年10月31日 有効回収数：1,768人 有効回収率：29.5%

児童・生徒へのがん教育の推進

がん対策推進アクションプランでは、がん予防の推進の一環として、がんの教育と普及・啓発活動の推進を掲げていることから、港区の小中学校の児童・生徒へ、がんに関する意識調査を行いました。

◎たばこに関する知識について

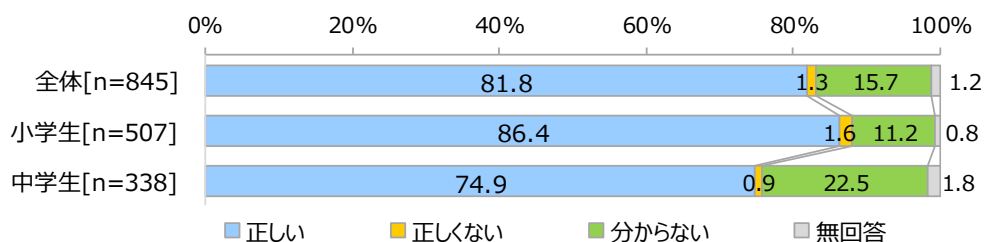
たばこに関する知識は、9割前後の児童・生徒が正しく理解しています。



◎がん予防について

がんの一次予防に関して、正しい理解を示した児童・生徒は8割を超えています。

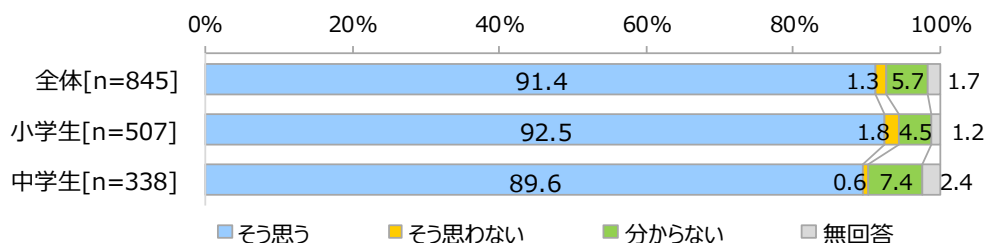
- がんを予防するには、たばこの煙を吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどの方法がある



◎がんに関する考え

がん検診の重要性を理解している児童・生徒は9割を超えています。

- がんを早く見つけるために、がん検診を受けることは大切だ



港区がんに関する区民意識調査（小中学生向け）

調査対象：小学6年生（各支所管内小学校）534人 中学2年生（各支所管内中学校）363人

調査期間：令和元年10月25日から令和元年11月15日 有効回収数：845人 有効回収率：94.2%

刊行物発行番号 31256-4241

港区がんに関する区民意識調査報告書【概要版】

令和2年（2020年）3月発行

発行 港区みなと保健所 健康推進課
〒108-8315 港区三田一丁目4番10号
電話 03（6400）0083